

汚染水減へ抜本策を

岩渕議員 海洋放出撤回を要求

参院委

日本共産党の岩渕友議員は31日の参院決算委員会で、東京電力福島第1原発事故で発生した汚染水の海洋放出決定を撤回し、汚染水を減らすための抜本的

質問する岩渕友議員
31日、参院決算委



な対策を強化するよう求めました。

岩渕氏は汚染水の発生量と原発敷地の降水量の推移をまとめた資料を示し、台風や大雨などで降水量が増えれば発生量も増える指摘。原子炉建屋への詳しい流入経路や流入量をたどりました。

東電の小早川智明社長は、1日あたり約140トンの汚染水が流入しているとした上で、「地下水や雨水の流入が考えられるが、正確な流入経路の内訳は評価できていない」と述べました。

岩渕氏は、「建屋流入の原因が分からなければ、対策が立てられない」と強調しました。地下水や地質学の専門家グループの調査

で、建屋周辺の地層にでこぼこがあり、水が通りやすい砂や通りにくい泥岩が複雑に分布していることが判明したと紹介。「汚染水を増やさないためのあらゆる手だてをとることなく、海洋放出決定は許されない」と批判し、地層調査も含めた抜本的な対策を求めました。

また岩渕氏は、地元漁業者や市議会などで、海洋放出に反対の声が広がっていると強調し、「この声に応えるべきだ」と迫りました。

梶山弘志経済産業相は「懸念を持つ方はたくさんいると認識しているが、懸念に応えるために対応したい」と述べるにとどまりました。岩渕氏は「反対の声にこたえて、決定は撤回すべきだ」と強調しました。

日本共産党議員の国会質問

廃炉 最終的姿議論を

岩渕氏「不明なまま放出やめよ」

岩渕友議員は10日の参院経済産業委員会
で、東京電力福島第1
原発事故に伴う廃止措
置について、政府が廃

た。

岩渕氏は、梶山弘志
経産相の「(廃炉の)具
体的な絵姿を示せる状
況にない」という答弁
をあげ、日本では事故
原発の廃炉完了要件が

法律で定められていな
いと指摘。旧ソ連のチ
エルノブイリ原発事故
の場合、核燃料デブリ
の取り出し・原子炉解
体など「廃炉完了状
態」や、安全重視の「約
100年」の工程を法
定していると紹介し、
「最終的な姿とそこに
至る過程について、地
元をはじめ国民的な議
論で明確に法定すべき
だ」と求めました。

岩渕氏は、デブリの
温度が十分に下がって
いるという専門家の試
算や、冷却に水ではな
くガスを用いる「空冷
方式」という提案を示
し、汚染水を発生させ
ない対策が重要である
と強調しました。



質問する岩渕友議員
10日、参院経産委